



## 平成26年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月6日  
上場取引所 東

上場会社名 クックパッド株式会社  
コード番号 2193 URL <http://info.cookpad.com/>

代表者 (役職名) 代表執行役 (氏名) 穂田 誉輝

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 (氏名) 菅間 淳

TEL 03-6408-6143

定時株主総会開催予定日 平成26年7月24日 配当支払開始予定日 平成26年7月25日

有価証券報告書提出予定日 平成26年7月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年4月期の連結業績(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期	6,572	—	3,132	—	3,147	—	1,868	—
25年4月期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年4月期 1,862百万円 (—%) 25年4月期 ー百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
26年4月期	56.62	55.92	23.6	32.6	47.7
25年4月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 26年4月期 ー百万円 25年4月期 ー百万円

のれん償却前営業利益…26年4月期 3,277百万円(—%)、25年4月期 ー百万円(—%)

「のれん償却前営業利益」の定義については、添付資料2ページ「1. 経営成績・財政状態に関する分析(1)経営成績に関する分析」をご参照ください。

(注) 当社は平成26年4月期より連結財務諸表を作成しているため、平成25年4月期の数値及び対前期増減率については記載していません。また、自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は連結初年度のため、それぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて計算しています。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年4月期	9,648	7,943	82.0	239.36
25年4月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 26年4月期 7,916百万円 25年4月期 ー百万円

(注) 当社は平成26年4月期より連結財務諸表を作成しているため、平成25年4月期の数値については記載していません。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年4月期	1,924	△1,320	△123	4,691
25年4月期	—	—	—	—

(注) 当社は平成26年4月期より連結財務諸表を作成しているため、平成25年4月期の数値については記載していません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
25年4月期	—	0.00	—	10.00	10.00	164	—	—
26年4月期	—	0.00	—	12.00	12.00	396	21.2	5.0
26年12月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 平成26年4月期より連結財務諸表を作成しているため、平成25年4月期の配当性向及び純資産配当率については記載していません。

2. 平成25年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。平成25年4月期の期末配当については、当該株式分割前の実績を記載しています。

3. 平成26年12月期の期末配当は未定です。

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年5月1日～平成26年12月31日)

当社は、平成26年7月24日に開催予定の定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されることを条件として、平成26年度より決算期を4月30日から12月31日に変更することを予定しています。そのため、決算期変更の経過期間となる平成26年度は平成26年5月1日から平成26年12月31日までの8ヶ月決算となる予定です。平成26年12月期の連結業績予想については、売上高と営業利益は平成25年5月1日から平成25年12月31日までの累計金額を上回ると見込んでいます。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

COOKPAD Inc.(米国)、ALLTHECOO  
新規 4社 (社名) KS, LLC、COOKPAD SPAIN, S.L、D、除外 1社 (社名)  
APUR MASAK PTE. LTD.

(注) 詳細は、添付資料13ページ「3. 連結財務諸表(5)連結財務諸表に関する注記事項(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

	26年4月期	株数	25年4月期	株数
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	33,074,800	株	32,884,800	株
② 期末自己株式数	1,208	株	1,208	株
③ 期中平均株式数	33,000,494	株	32,731,905	株

(注) 平成25年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しています。

(参考) 個別業績の概要

平成26年4月期の個別業績(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期	6,494	30.3	3,375	27.6	3,275	21.2	2,046	26.6
25年4月期	4,982	27.4	2,644	37.1	2,701	41.6	1,616	45.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期	62.00	61.23
25年4月期	49.38	48.52

(注) 平成25年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しています。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年4月期	9,580	8,159	84.9	245.89
25年4月期	7,458	6,239	83.2	188.63

(参考) 自己資本 26年4月期 8,132百万円 25年4月期 6,202百万円

(注) 平成25年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しています。

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページ「1. 経営成績・財政状態に関する分析(1)経営成績に関する分析(次期の見通し)」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 経営方針	6
(1) 会社の経営の基本方針	6
(2) 目標とする経営指標	6
(3) 中長期的な会社の経営戦略	6
(4) 会社の対処すべき課題	6
3. 連結財務諸表	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

当社は、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する分析

当社は「毎日の料理を楽しみにする」ことを企業理念として、インターネット上で料理レシピの投稿・検索等が可能な「クックパッド」を中心に事業展開しています。

当連結会計年度において当社は、レシピサービスの世界展開に取り組みました。

具体的には、当第3四半期連結会計期間において、英語のレシピサービス「allthecooks」とスペイン語のレシピサービス「Mis Recetas」を買収し、完全子会社化しました。また、当第4四半期連結会計期間において、持分法非適用会社であったインドネシア語圏のレシピサービス「Dapur Masak」に追加出資し、完全子会社化しました。その結果、日本語、スペイン語、英語、インドネシア語圏に合わせて最大で約10億人に対してサービスを提供することが可能となりました。今後は「クックパッド」の運営ノウハウの共有によってサービス利用者増加を促進し、レシピサービスの世界展開により一層注力していきます。

当連結会計年度において、「クックパッド」ののべ月間利用者数は順調に推移し、2014年4月末時点で4,404万人（前年同月比34.4%増）となりました。当サービスは日常の生活動線上で利用されているため、日常生活の多様なシーンでインターネットの利用が可能なスマートフォンとの相性が非常に良く、特にスマートフォンからの利用者数が順調に増加し、2,678万人（前年同月比63.1%増）となりました。

また、「クックパッド」の価値の源泉は多くの利用者により投稿された多様なレシピであると考えています。利用者がより楽しくレシピを投稿できるためのサービス改善を続けた結果、レシピ数も堅調に増加し、2014年4月末には累計投稿レシピ数が171万品を超えました。

「クックパッド」については、レシピの投稿・検索サービスから「食を中心とした生活インフラ」へと進化させていきます。そのため、サービスをレシピ以外の領域に広げるためにメディアを拡充しました。具体的には、世の中の食卓のトレンドや食にまつわるニュースをお届けする「クックパッドニュース」の配信を開始し、2014年4月末時点で公開記事が1,000本を突破しました。また、掲示板やデコレーション料理の投稿などのコミュニティである「みんなのカフェ」の月間利用者数は2014年4月末時点で160万人を突破しています。

さらに、サービス自体を「食を中心とした生活インフラ」へと進化させるべく、新規事業の拡大にも引き続き注力しました。

「特売情報」は、近くのスーパーや食料品店の毎日の特売情報を「クックパッド」上で閲覧することができるサービスで、情報を提供している店舗数は約10,000店舗に及んでいます。また、登録利用者数も順調に増加し、2014年4月末時点で200万人を突破しました。

2013年6月には生活習慣病の予防と食事療法をおいしくサポートするサービス「健康レシピ」を開始しました。

また、食以外の領域でのサービス提供も視野に入れており、当第2四半期連結会計期間において、「プライベートコーチのCyta.jp (咲いた.jp)」を運営するコーチ・ユナイテッド株式会社を完全子会社化しました。当サービスは、語学・楽器・デザインなどのレッスンのプライベートコーチ（個人指導の先生）が見つかるサイトですが、今後はレッスンの検索・予約にとどまらず、ハウスキーピングを始めとした幅広い地域サービスを取り扱う「サービスEC」へと発展していくことを目指しています。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、

売上高	6,572百万円
のれん償却前営業利益	3,277百万円
営業利益	3,132百万円
経常利益	3,147百万円
当期純利益	1,868百万円

となりました。

なお、のれん償却前営業利益は、会計上の営業利益に、買収及び事業譲受により生じたのれん償却額144百万円を足し戻したものです。

当連結会計年度の業績に関する特記事項は以下のとおりです。

イ. 売上高は6,572百万円となりました。会員事業において、プレミアム会員数が順調に増加し、130万人を突破しました。また広告事業においては、ディスプレイ広告及びタイアップ広告が伸長し、スマートフォン広告も売上に寄与しました。

ロ. 営業利益は3,132百万円となりました。また、売上高営業利益率は47.7%となりました。

当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。事業ごとの取組みとその成果は以下のとおりです。

#### ①会員事業

会員事業では、「クックパッド」の一部機能の有料提供を行っています。スマートフォン利用者数の増加に牽引されてスマートフォンからのプレミアムサービス入会者数が順調に増加し、2014年4月末時点のプレミアム会員数は130万人を超えました。その結果、会員事業の売上高は3,968百万円となりました。

当連結会計年度は、利用者数の増加によって食への関心も多様化するなか、日々利用動向を解析し、プレミアムサービスの付加価値向上に取り組みました。また、プレミアムサービスへの入会につながる導線の改善及び携帯電話の販売店を通じたアフィリエイトを中心としたプロモーションを実施した結果、プレミアム会員の純増数は36万人（前年同期比100.2%増）となり、純増数の増加ペースが加速しました。

今後もさらなる新規サービスの追加やその認知向上によって、プレミアム会員数の拡大を目指していきます。

#### ②広告事業

広告事業の売上高は、2,505百万円となりました。

大型のディスプレイ広告の受注によって売上が堅調に増加しています。また、ディスプレイ広告と共にタイアップ広告を展開する案件が増加し、タイアップ広告の売上も増加しました。さらに、スマートフォンのディスプレイ広告も売上に寄与しはじめました。

今後も引き続き、PC及びスマートフォンの両方において広く商品の認知を獲得できる広告商品を中核に据え、事業を成長させていきます。

当社の広告商品の内容は以下のとおりです。

広告商品名	内容
ディスプレイ広告	広告主または代理店に直接営業して販売するディスプレイ型の広告
タイアップ広告	広告主または代理店に直接営業して販売するタイアップ企画型の広告
ネットワーク広告	広告配信会社が提供するアドネットワークを通じて自動的に配信される広告

#### (次期の見通し)

当社は、2014年7月24日に開催予定の定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されることを条件として、2014年度より決算期を4月30日から12月31日に変更することを予定しています。そのため、決算期変更の経過期間となる2014年度は2014年5月1日から2014年12月31日までの8ヶ月決算となる予定です。

2014年12月期の連結業績予想については、売上高と営業利益は2013年5月1日から2013年12月31日までの累計金額を上回ると見込んでいます。「クックパッド」を中心とするサービスをより幅広いユーザーに利用いただくことを目指し、プレミアム会員数の増加による会員事業の拡大を中心に中期的な成長を実現していきます。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、9,648百万円となりました。なお、流動資産は6,282百万円、固定資産は3,365百万円です。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、1,705百万円となりました。なお、流動負債は1,693百万円、固定負債は12百万円です。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、7,943百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は4,691百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、1,924百万円となりました。この主な要因は、税金等調整前当期純利益3,137百万円を計上した一方で、法人税等の支払額1,307百万円が生じたことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、1,320百万円となりました。この主な要因は、定期預金の払戻による収入1,500百万円が発生した一方で、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,403百万円及び事業譲受による支出1,014百万円が生じたことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、123百万円となりました。この主な要因は、配当による支払い164百万円が生じたことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2014年4月期
自己資本比率 (%)	82.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	701.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	0.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	0.0

- (注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。  
 2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。  
 3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。  
 4. 2014年4月期より連結財務諸表を作成しているため、それ以前の内容は記載していません。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を行っていくことを重要な経営課題の一つとして認識しています。剰余金の配当については、長期的な事業拡大に必要な内部留保の充実を勘案し、当社の経営成績及び財政状況並びにその見通しに応じた適切な利益還元策を柔軟に検討し、業績に連動した利益配分を実施することを基本方針としてまいりました。

当期の期末配当金については、連結配当性向20%を目処とし1株当たり12円とさせていただきました。

なお、次期の期末配当については現在未定ですが、連結配当性向20%を目安とし、業績の進捗や事業環境等を勘案して決定する予定です。配当金額が決定次第、速やかに開示します。

## 2. 経営方針

### (1) 会社の経営の基本方針

当社は「毎日の料理を楽しむにすることを企業理念とし、レシピサービスの世界市場を視野に入れると共に、料理レシピの投稿・検索サービス「クックパッド」を「食を中心とした生活インフラ」へと進化させるべく、サービス利用者及び顧客の満足度向上に努め、企業価値の向上を目指しています。

### (2) 目標とする経営指標

当社はサービス利用者の満足度を高めることが企業価値向上につながると考えているため、重視している経営指標は運営サービスの利用者数です。また、継続的な事業拡大のため、売上高増加率、売上高営業利益率、経常利益増加率等の財務指標を成長性や経営効率の指標としています。

### (3) 中長期的な会社の経営戦略

海外についてはレシピサービスの世界展開を目指し、世界中の人々に向けて世界各国の料理を楽しむにすレシピサービスを提供していきます。

国内については、「クックパッド」自体のユーザー数の伸びはもちろん、「食を中心とした生活インフラ」という面から、より一層の利用者の満足度向上により更なる利用者数の増加を目指す方針です。これに伴い、新規サービス及び新規事業の立ち上げにも積極的に取り組んで収益基盤を強化し、長期にわたって持続的な成長を実現します。

### (4) 会社の対処すべき課題

当社が対処すべき課題は以下のとおりです。

#### ① レシピサービスの世界展開について

当社は世界中の人々に利用されるレシピサービスの提供を目指します。その上で以下の点が課題であると考えています。

- ・良質なレシピを集めるために、各国・各地域に合わせたレシピコミュニティを作り、活性化させていくことが重要であると認識しています。そのために、レシピ投稿者が楽しくレシピを投稿できる仕組みづくりや、レシピコミュニティの認知度向上に取り組みます。
- ・海外のレシピサービスにおいても、「クックパッド」と同じく会員事業及び広告事業で収益基盤を構築していきたいと考えています。そのため、海外の利用者のニーズに応えられる有料サービスの開発及びネットワーク広告を中心とした広告モデルの構築に取り組みます。

#### ② 新規サービス及び新規事業の立ち上げについて

当社は、「クックパッド」の利用者の生活をより豊かにする「食を中心とした生活インフラ」を提供するべく、新規サービス及び新規事業の立ち上げに取り組めます。さらに、食以外の領域にも視野を広げたサービスを開発し、利用者のニーズに応じていきます。



3. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

当連結会計年度  
(2014年4月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	4,691,335
受取手形及び売掛金	1,343,918
繰延税金資産	123,748
その他	126,895
貸倒引当金	△3,028
流動資産合計	6,282,869
固定資産	
有形固定資産	
建物	69,071
減価償却累計額	△66,749
建物(純額)	2,322
工具、器具及び備品	99,461
減価償却累計額	△64,817
工具、器具及び備品(純額)	34,644
有形固定資産合計	36,966
無形固定資産	
のれん	2,541,980
その他	63,621
無形固定資産合計	2,605,602
投資その他の資産	
投資有価証券	42,000
関係会社株式	178,253
差入保証金	227,230
繰延税金資産	254,756
その他	21,119
投資その他の資産合計	723,360
固定資産合計	3,365,929
資産合計	9,648,798
負債の部	
流動負債	
買掛金	21,708
未払金	678,841
未払法人税等	846,556
その他	146,102
流動負債合計	1,693,208
固定負債	
長期借入金	12,092
固定負債合計	12,092
負債合計	1,705,300

(単位：千円)

当連結会計年度  
(2014年4月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	871,425
資本剰余金	870,850
利益剰余金	6,182,035
自己株式	△1,185
株主資本合計	7,923,124
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	△6,366
その他の包括利益累計額合計	△6,366
新株予約権	26,740
純資産合計	7,943,498
負債純資産合計	9,648,798

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

当連結会計年度  
(自 2013年5月1日  
至 2014年4月30日)

売上高	6,572,139
売上原価	93,481
売上総利益	6,478,657
販売費及び一般管理費	3,346,190
営業利益	3,132,467
営業外収益	
受取利息	4,930
為替差益	4,779
助成金収入	3,000
その他	3,902
営業外収益合計	16,612
営業外費用	
支払利息	163
その他	972
営業外費用合計	1,136
経常利益	3,147,943
特別利益	
新株予約権戻入益	14,598
事業譲渡益	8,000
段階取得に係る差益	11,084
特別利益合計	33,682
特別損失	
固定資産除売却損	461
関係会社株式評価損	43,789
特別損失合計	44,250
税金等調整前当期純利益	3,137,375
法人税、住民税及び事業税	1,369,548
法人税等調整額	△100,955
法人税等合計	1,268,593
少数株主損益調整前当期純利益	1,868,782
当期純利益	1,868,782

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)	
当連結会計年度 (自 2013年5月1日 至 2014年4月30日)	
少数株主損益調整前当期純利益	1,868,782
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△6,366
その他の包括利益合計	△6,366
包括利益	1,862,415
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	1,862,415
少数株主に係る包括利益	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2013年5月1日 至 2014年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	847,440	846,865	4,509,800	△1,185	6,202,919
当期変動額					
新株の発行	23,985	23,985			47,970
剰余金の配当			△164,417		△164,417
当期純利益			1,868,782		1,868,782
連結範囲の変動			△32,129		△32,129
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	23,985	23,985	1,672,235	—	1,720,205
当期末残高	871,425	870,850	6,182,035	△1,185	7,923,124

	その他の包括 利益累計額 為替換算 調整勘定	新株予約権	純資産合計
当期首残高	—	36,883	6,239,802
当期変動額			
新株の発行			47,970
剰余金の配当			△164,417
当期純利益			1,868,782
連結範囲の変動			△32,129
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△6,366	△10,142	△16,509
当期変動額合計	△6,366	△10,142	1,703,696
当期末残高	△6,366	26,740	7,943,498

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当連結会計年度 (自 2013年5月1日 至 2014年4月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前当期純利益	3,137,375
減価償却費	25,289
のれん償却額	144,692
段階取得に係る差損益 (△は益)	△11,084
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	443
受取利息及び受取配当金	△4,930
支払利息	163
為替差損益 (△は益)	△5,810
新株予約権戻入益	△14,598
固定資産除売却損益 (△は益)	461
関係会社株式評価損	43,789
売上債権の増減額 (△は増加)	△263,077
仕入債務の増減額 (△は減少)	12,427
その他の資産の増減額 (△は増加)	49,598
その他の負債の増減額 (△は減少)	102,138
小計	3,216,880
利息及び配当金の受取額	15,369
利息の支払額	△163
法人税等の支払額	△1,307,265
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,924,819
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の払戻による収入	1,500,000
有形固定資産の取得による支出	△28,440
無形固定資産の取得による支出	△12,797
関係会社株式の取得による支出	△214,346
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,403,041
事業譲受による支出	△1,014,521
差入保証金の差入による支出	△147,573
その他	158
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,320,562
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
株式の発行による収入	43,523
配当金の支払額	△164,417
借入金の返済による支出	△2,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△123,294
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,395
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	479,566
現金及び現金同等物の期首残高	4,167,841
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	43,926
現金及び現金同等物の期末残高	4,691,335

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

(連結の範囲に関する事項)

当第2四半期連結会計期間においてコーチ・ユナイテッド株式会社の株式を取得し子会社化したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めています。

当第3四半期連結会計期間において、当社の子会社であるCOOKPAD Inc. (米国)がALLTHECOOKS, LLCの持分を取得し孫会社化した結果、重要性が増したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より同2社を連結の範囲に含めています。また、新たに設立したCOOKPAD SPAIN, S.L.ほか1社を連結の範囲に含めています。

さらに、当第4四半期連結会計期間において、DAPUR MASAK PTE. LTD.の株式を取得し子会社化したことに伴い、当第4四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めたほか、新たに1社設立したことに伴い、合計7社を連結の範囲に含めています。

なお、COOKPAD Inc. (米国)、ALLTHECOOKS, LLC.、COOKPAD SPAIN, S.L.及びDAPUR MASAK PTE. LTD.は当社の特定子会社に該当します。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当連結会計年度(自 2013年5月1日 至 2014年4月30日)

当社は、単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2013年5月1日 至 2014年4月30日)
1株当たり純資産額	239.36円
1株当たり当期純利益金額	56.62円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	55.92円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	当連結会計年度 (自 2013年5月1日 至 2014年4月30日)
1株当たり当期純利益金額	
当期純利益(千円)	1,868,782
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,868,782
普通株式の期中平均株式数(株)	33,000,494
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	
当期純利益調整額(千円)	—
普通株式増加数(株)	415,938
(うち新株予約権(株))	(415,938)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。